【資料 1-1- ⑤】人間・環境学研究科　カリキュラム体系

人間・環境学研究科ホームページ（HOME > 概要 > 大学院人間・環境学研究科 > カリキュラム体系）
https://www.h.kyoto-u.ac.jp/about/gr/curriculum/

京都大学大学院人間・環境学研究科のカリキュラム

教育研究上の目的	人間・環境学研究科は、環境、自然、人間、文明、文化を対象とする幅広い学問分野の越境を通して、人間と環境のあり方についての根源的な理解を深めるとともに、こうした研究活動を推進するなかで、人間及び環境の問題に対して広い視野と高度な知識、高い倫理性と強い責任感をもって取り組むことのできる研究者、指導者、実務者を養成することを目的とする。

博士学位の授与基準	1. それぞれの専門領域における高度な学識や学際的な幅広い視野に基づく研究能力を身につけていること。 2.「着想の独創性」、「問題解決の企画力」、「持続的努力」などの観点からめざましい学問的成果を上げていること。 3. 上記のことを通して、新たな知的価値の創出に寄与できる研究職や高度な専門業務に従事するための優れた能力を培っていること。

博士後期課程

博士論文

【研究指導科目】

3年次	課程博士A　10単位	課程博士B　8単位
	博士論文提出 特別演習、特別セミナー	博士論文として総合論文提出
2年次	特別研究Ⅱ　レポートⅡ	特別演習、特別セミナー
1年次	特別研究Ⅰ　レポートⅠ	特別研究Ⅱ　レポートⅡ

【研究公正科目】1単位
- 研究公正チュートリアル
- 研究倫理・研究公正

【教養知科目】2単位
- 学際研究演習
- 教養教育実習
- 事前講座

増加単位
- 【学術越境科目】
  - 学術越境実践

学術越境プログラム

入学資格		
	課程博士A	大学院博士前期課程修了又は修了見込の者で、修士論文等の審査及び口頭発表及び試問において十分な学識と研究能力を有すると判定された者。
	課程博士B	博士前期課程修了後も引き続き社会人として研究を継続し論文・著書の刊行を通じて本研究科の研究目的に沿った研究業績を既に発表している者。上記の業績の審査と口頭発表及び試問によって入学可否の判定を行う。

博士後期課程に編入学

博士後期課程に進学

社会に出て活躍

進学してプログラム実施

修士学位の授与基準	1. それぞれの専門領域における広範かつ深い学識や広い視野に基づく研究能力を身につけていること。 2. それらに基づく高度な分析・判断能力や論理的な論述能力を修得していること。 3. 上記のことを通して、高度な専門性を必要とする職業を担うための優れた能力を培っていること。

修士課程

修士論文

2年次	研究Ⅰ
1年次	研究Ⅱ

【研究指導科目】8単位

【学際知科目】18単位以上
- 選択必修科目
  - 自講座開設科目 8単位以上
- 選択科目
  - 他講座開設科目等 10単位以内

【教養知科目】1単位
- 研究を他者と語る

【研究公正科目】1単位
- 研究倫理・研究公正
- 研究公正リュートリアル

【学術越境科目】
- 必修科目
  - 学術越境基礎（他講座開設）2単位

増加単位
- 学術越境研究計画2
- 学術越境研究計画1

人間・環境学研究科が求める学生像	1.特定の学問分野を主軸とする専門的研究において、問題の設定からその解決方法の提示に至る研究過程に取り組むことのできる知識、能力ならびに熱意を有していること。 2.他者や異文化に対する理解を尽くした上で、自らの見解を形成し、それを豊かに表現するプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力、ならびにリーダーシップを持っていること。 3.人文科学・社会科学・自然科学を横断する幅広い知識と教養を身につけ、自らの専門分野のみに閉じこもらない、人間・文明・自然に対する、多角的な視点や柔軟な発想力を培っていること。 4.「人間・環境学研究科」の名称にある「・」は、加算的な意味合いの「・」ではなく、乗算的な意味合いのそれである。この名称が示唆するように、既成の知を熟知しているだけでなく、それを基盤に新たな創造的飛躍をなしうる知的軽やかさを身につけていること。